

かしこく あたたかく たくましく生きる子 の育成をめざして

令和7年度



しもよねだ

第2号

令和7年4月30日(水)

よなだっ子のすばらしさ

校長 安藤 由美子

新年度がスタートして1ヶ月、子ども達の見せる姿にはっとさせられ、わくわくさせられる毎日でした。印象に残った“よなだっ子”の姿を紹介します。

「さわやか」

登下校の時、廊下ですれ違う時、大きな声で挨拶してくれる子、立ち止まりお辞儀をしながら挨拶してくれる子、はにかみながらも笑顔で挨拶してくれる子、授業中に目が合うと場をわきまえて軽く会釈してくれる子も多くいます。される側が爽やかな気持ちになる挨拶ができます。

「元気」

休み時間の運動場は子ども達であふれます。外に出て時間いっぱい遊びます。体育の体操の掛け声も元気、朝の会の歌声も元気、授業中の笑い声も元気！ 感情を豊かに、素直に出せます。

「優しい」

登校に慣れない1年生に寄り添い、助けてくれる上級生がたくさんいます。頼むと嫌な顔ひとつせず動いてくれる子もたくさんいます。立っていた私にそっと椅子を差し出してくれる子もいます。人を気遣い、困っていれば手を差し伸べる優しさがあります。

保護者や地域の皆様、周囲の大人達から大きな愛情を注がれ、育ってきたのだと感じます。

2年生の子が、ミニトマトの鉢に向かって「大きくなあれ！ 大きくなあれ！」と叫んでいました。愛情をたっぷり受けた芽は、きっと大きな花を咲かせることでしょう。楽しみです。



「聞くときは聞く」 けじめのある姿
命を守る訓練より